

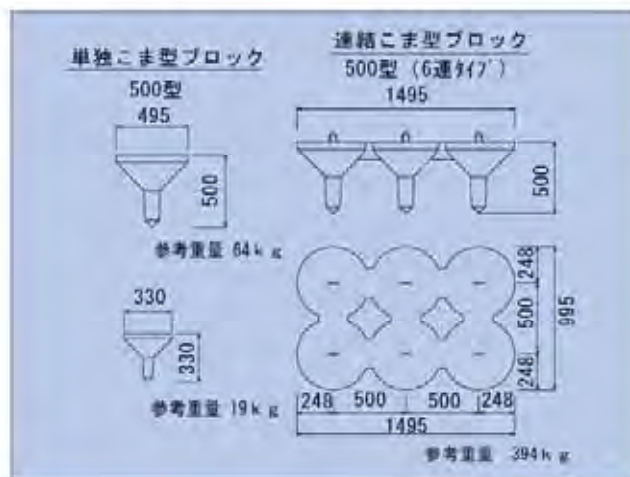
■ 連結こま型ブロック 500型（6連タイプ）を新たに追加しました。 ■

## 『こま型基礎工法』

### 概要

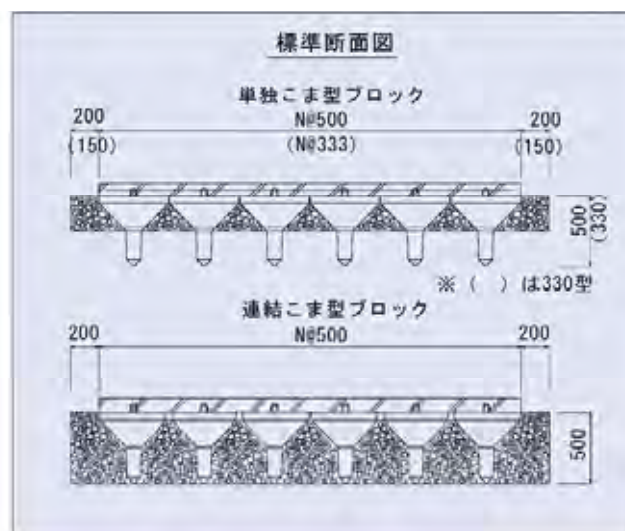
こま型基礎工法は基礎地盤の表面に、こまの形状をしたコンクリートブロックを敷設して支持力向上と沈下抑制を図る軟弱地盤での基礎工法です。

### 形状・規格



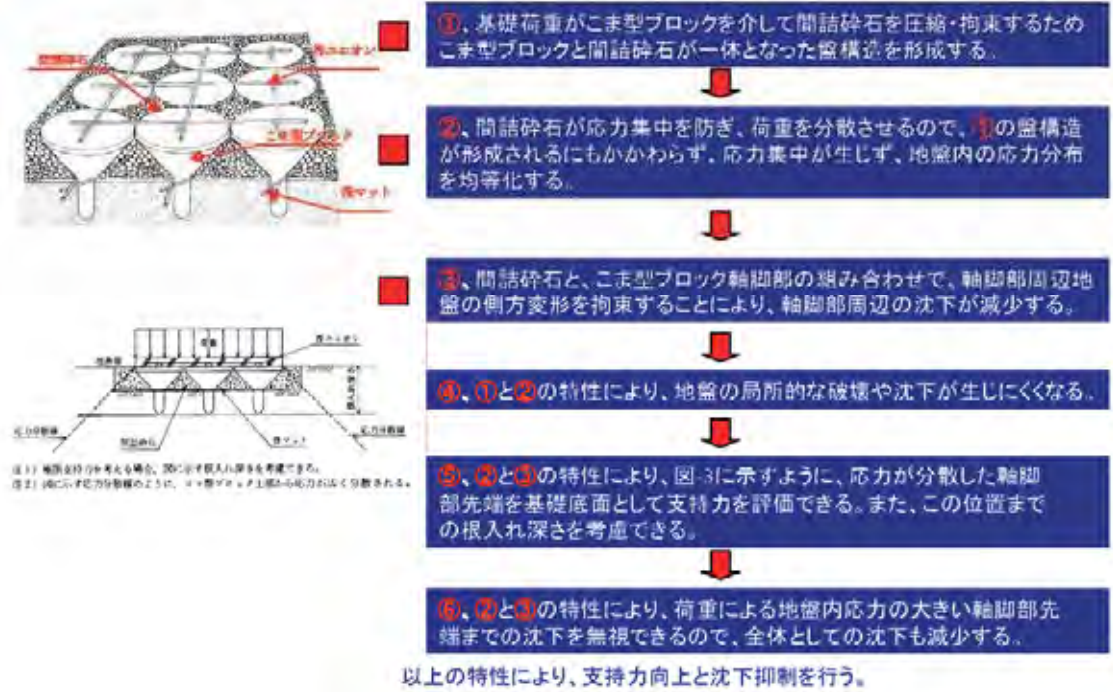
500型（6連タイプ）

### 標準断面



## 支持力向上・沈下抑制のメカニズム

### こま型基礎の支持力向上・沈下抑制のメカニズムについて



## 一般的適用基準

表2-1 トップベース工法の一般的適用基準 (1) [対象：擁壁]

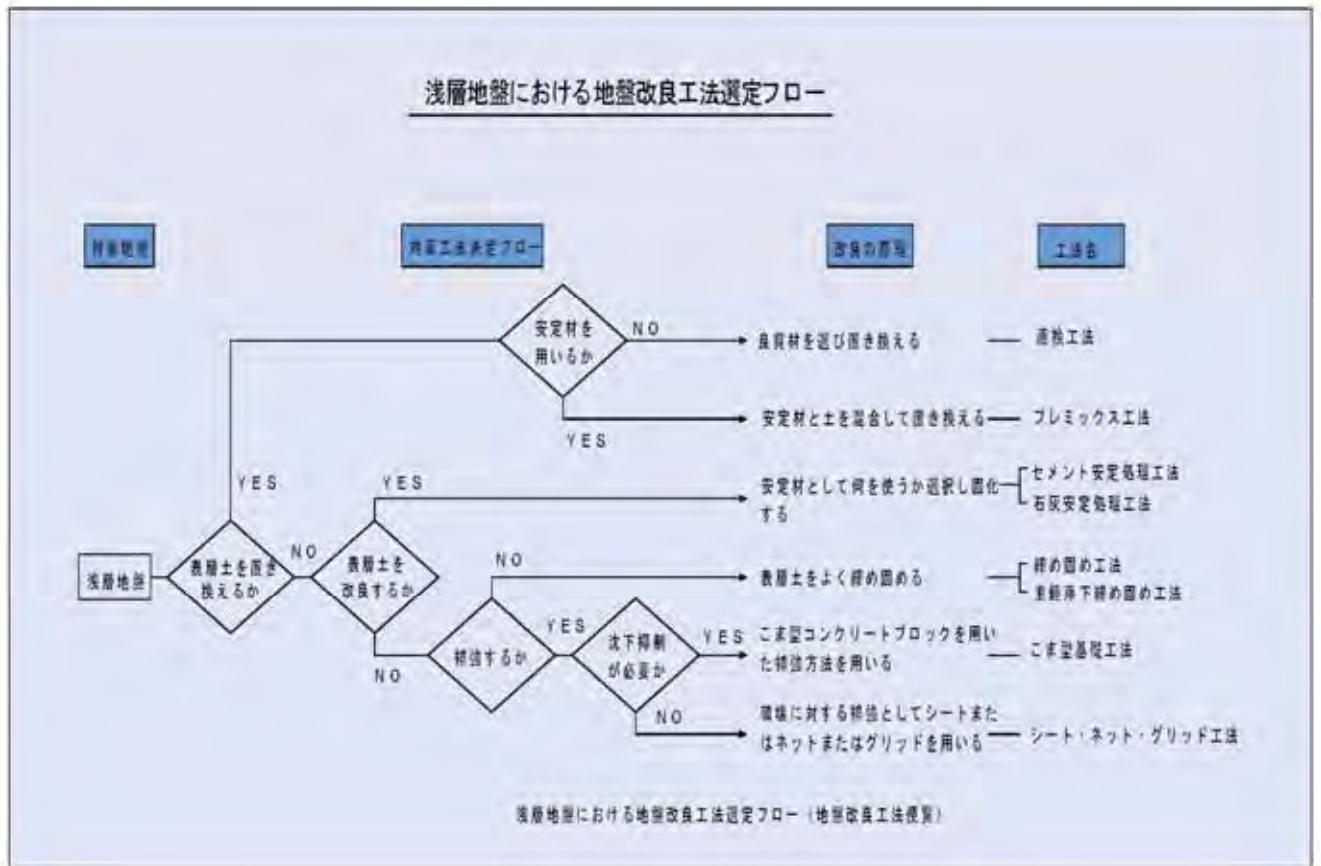
地盤の種類		作用荷重 $P$ (tf/m <sup>2</sup> )						
		$P \leq 3$	$3 < P \leq 5$	$5 < P \leq 7.5$	$7.5 < P \leq 10$	$10 < P \leq 12.5$	$12.5 < P \leq 15$	
粘性土	$2 \leq N < 4$ ( $2 \leq Cu < 4 \text{ tf/m}^2$ )	330型	500型	500型	500型 (一～二層)	500型 (二層)	*	
	$N \geq 4$ ( $Cu \geq 4 \text{ tf/m}^2$ )	-	-	330型 500型	500型	500型 (一～二層)	500型 (二層)	
砂質土	$2 \leq N < 5$	330型 500型	500型	500型	500型	500型 (一～二層)	500型 (二層)	
	$5 \leq N < 9$	330型	330型	330型 500型	500型	500型 (一～二層)	500型 (二層)	
	$N \geq 9$	-	-	330型	500型	500型	500型	

表2-2 トップベース工法の一般的適用基準 (2) [対象：ボックスカルバート・開水路等]

地盤の種類		作用荷重 $P$ (tf/m <sup>2</sup> )			
		$P \leq 3$	$3 < P \leq 5$	$5 < P \leq 7.5$	$7.5 < P \leq 10$
粘性土	$N < 2$ ( $Cu < 2 \text{ tf/m}^2$ )	330型 500型	500型	*	*
	$2 \leq N < 3$ ( $2 \leq Cu < 3 \text{ tf/m}^2$ )	330型	500型	500型	500型
	$N \geq 3$ ( $Cu \geq 3 \text{ tf/m}^2$ )	-	330型	330型 500型	500型
	$N < 5$	330型 500型	500型	500型	500型
砂質土	$5 \leq N < 9$	330型	330型	330型 500型	500型
	$N \geq 9$	-	-	330型	500型

注1) \*印の場合、または表2-2で作用荷重が10tf/m<sup>2</sup>を越える場合には、別途詳細な検討が必要である。  
 注2) 極端な偏荷重が作用する場合、あるいは大きな沈下の発生が予想される場合には、別途詳細な検討が必要である。

## 浅層地盤における地盤改良工法選定



## こま型基礎工法の基準・証明

- 「トップベース工法設計施工マニュアル」・・・・・・・・・・・・・ (財) 土木研究センター
- 「耐震効果及び液状化に関する論文集」・・・・・・・・・・・・・・・・・ 東京大学地震研究所
- 「地盤改良工法便覧」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 日本材料学会
- 「基礎工」農林水産省施工指針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 中四国農政局
- 「建築物等の施工技術及び保全技術・建設技術審査証明」取得・・・ (財) 日本建築センター
- 「NETIS」国土交通省 新技術情報提供システム登録・・・・・・・・・ QS-990016A